

岡山三大盆踊りの一つ 素朴で優雅な盆踊り

大宮踊



指定区分	国指定重要無形民俗文化財
読みかた	おおみやおどり
所在地	真庭市蒜山(旧川上村・八束村)
指定年月日	平成9年12月15日
解説	蒜山地域一帯で催される素朴で優雅な盆踊り。中でも福田神社で行われるのが最も最大である。多くは板張り床のある屋内で、中央上方に大灯籠を吊し、その下で輪になって踊る。輪の中に音頭取り数名と太鼓叩きが位置する。踊り手は、音頭のゆるやかなテンポにあわせて、下駄で床を踏みつつ悠長に踊るが、その振りは全身の動きに細やかに心を配りながらの大変美しい型となっている。踊りは「あおい」「しっし」「まねき」の3通りあり、踊りが終わりに近づくとテンコと呼ばれる仮装した踊り手が登場し、身振り手振り面白く踊り、観客の目を奪う。
アクセス方法	中国自動車道蒜山IC
公開状況	8月13～19日、蒜山各神社など(8月15日の福田神社が最も盛大)
設備	
備考	蒜山地域のいたるところで行われますが、8月15日の福田神社(大宮様)で行われるものが最も盛大で、夜には花火大会も行われます。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	国指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	大宮踊
よみかた	おおみやおどり
しょざいち (所在地)	真庭市蒜山(旧川上村・八束村)
していしたひ (指定した日)	平成9年12月15日
せつめい	岡山の三大盆踊(ぼんおどり)の一つです。お盆には蒜山地域(ひるぜんちいき)のいたるところで踊(おど)られています。大きな灯(とう)ろうの下で輪(わ)になって優雅(ゆうが)に踊ります。踊りは「あおい」「しっし」「まねき」の三とおりあり、おわりごろにはテンコと呼(よ)ばれる仮装(かそう)した踊り手が登場(とうじょう)して、おもしろいみぶりでぶりで踊ります。